

名古屋工業会誌と恩師の思い出

ごきその思い出

ごきそ 500 号がまもなく発行されます。ごきそ第 1 号は私が名工大に入学した昭和 43 年より 1 年前の昭和 42 年 6 月に名古屋工業会「会誌」として発刊され、昭和 45 年のごきそへの改題を経て、53 年間に渡る発行が続き今に至っています。

昭和 61 年 2 月の 200 号のときのごきそは B 5 判で、毎月発行でした。200 号の表紙は当時編集委員をされていた後藤敬典先生（F40）の撮影で「キャンパスをはみ出したマイカー」と説明がありました。478 号の表紙には私が工業会館へ向かう途中に撮影した写真が採用されました。こんな嬉しいことはこれが最初で最後です。

平成 12 年度から 2 年間編集委員長をされていた故戸莉吉孝先生（F39）が毎月発行を、できれば隔月発行にしたいと語っておられてからまもなく、隔月発行で A 4 判になったようです。

私の知る限りでは、計測会関係で 2014 年ぐらいからずっと守田賢一計測会長（F47）と米谷昭彦先生（F60）広報委員としてごきその編集に貢献されています。



写真 1) ごきその変遷 左が 200 号 右は 2017 年の工業会館

恩師依田先生とオヤジの思い出

オヤジ大鹿桂一（◎20）は太平洋戦争真只中の昭和18年に名古屋工業専門学校数学科に入学しました。

オヤジが名古屋高等工業高校に入学してから25年後に私が名工大計測工学科に入学。私が計測工学科を志望したのは、名工専数学科で学んだオヤジの影響もありました。



写真2) 昭和18年 名工専 校門

昭和18年4月3日付の“名古屋臨時教員養成所入学許可証”を見つけたのは、名古屋の実家を片付け中の令和3年1月でした。

許可証には「四月十二日午前八時二十分出校 講堂ニ参集スベシ」とありました。

実家は今年の2月末に売却したので、その前に思い出の品をいくつか東郷町の自宅へ持ち帰りました。その中のオヤジの学生時代のアルバムには、昭和19年の名工専の軍服姿などの教授9名と数学科同期の71名の写真が貼ってありました。のちに計測工学科初代主任教授になられた依田先生の軍服姿及びさつまいもを持ったお姿（写真3）と武豊農場でのオヤジ（写真4）、そして当時の学校寮があった富貴の田植え前の地ならし（写真5）をご覧ください。当時の学生生活が偲ばれます。以下の写真はすべて昭和19年撮影です。



写真3) 故依田浩先生



写真4) 武豊農場にて



写真5) 田植え前の地ならし



写真6) 軍事演習中?

オヤジの卒業 60 周年の平成 17 年 5 月 21 日。私はオヤジを名古屋工業会総会に誘うため名工大講堂までクルマで送迎しました。懐かしい母校を見たオヤジがほんとに嬉しそうだったことを思い出します。そのあと、父子共通の恩師だった依田先生を訪問する機会を失ってしまったことが心残りです。

平成 18 年 1 月 19 日、父が病名不明の病で八事日赤病院に入院。その日からまもなく 3 日もしないうちに、依田先生が亡くなられたという悲しい知らせがありました。私は入院中の父から、「依田先生にわしの分もお悔やみを申し上げてくれ」と言われてその足で、お通夜にかけつけ「親子でお世話になりました」とご遺族にご挨拶ができました。依田先生の後を追うように、父は入院からちょうど 3 か月後の 4 月 19 日に、81 歳で亡くなりました。筆者が名工大に入学してすぐに、父から「依田先生から『坊ちゃん（私のこと（笑））は元気ですか』と言われた」と嬉しそうに教えてくれたことを思い出します。父と依田先生はどこか風貌が似ていた気がします。

記：計測会顧問（名古屋工業会理事 大鹿秀正（F47））